33.目に見えない慈悲深き御方を畏れ，心の底から悔悟して（主に）帰った者たちのため（のものである）。

34.「安んじてそれに入れ。これは永遠の日である。」

35.かれらのためにはそこに，欲しいものは何でもあり，またわが許からもっと追加があろう。

36.われはかれら以前に，如何に多くの世代を滅ぼしたことか。かれらは，これら（マッカの多神教徒）よりも力においてもっと勇猛であったではないか。それでかれらは諸都市を巡り歩いたが，何処に避難所があろうか。

37.本当にこの中には心ある者，また耳を傾ける者，注視する者への教訓がある。

38.われは天と地，またその間にある凡てのものを6日の間に創造した。しかしわれは少しの疲れも感じることはなかった。

39.それであなたはかれらの言うことを忍び，主の栄光を誉め讃えなさい。太陽が登る前と沈む前に。

40.また夜も，かれを讃えて唱念しなさい，また礼拝の終りにも。

41.耳を傾けなさい。召集者が直ぐ近い所から呼ぶ日に（備えて）。

42.その日，かれらは真実の一声を聞こう。それは（墓場から）出て行く日である。

43.本当にわれは生を授け，また死を与える。われに（凡てのものの）帰着所がある。

44.その日，大地はかれら（の所）から裂け，かれらは急いで出て行く。これこそが召集で，われにとっては容易な業である。

45.われはかれらの言うことを良く承知している。あなたはかれらに強制してはならない。わが警告を恐れる者たちに，クルアーンによって訓戒しなさい。

SURA 51.撒き散らすもの章〔アッ・ザーリヤート〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

1.広く撒き散らす（風）にかけて，

2.重く（雨を）運ぶ（雲）にかけて，

3.安々と走る（船）にかけて，

4.御命を奉じて配付を司るものにかけて（誓う）。

5.あなたがたに約束されたことは，真実で，

6.本当に審判は，必ず下る。

7.おびただしい軌道をもつ天にかけて（誓う）。

8.本当にあなたがたは，信条がまちまちで，

9.これ（復活の信仰）から背く者は，（真実から）背き去る者である。

10.臆測者は処罰されよう。

11.混乱の洪水の中でぼんやりしている者，

12.かれらは，「審判の日は何時のことですか。」と問う。

13.（それは）かれらが，火獄で試・られる日。

14.（言ってやるがいい。）「あなたがたの責め苦を味わえ。これこそあなたがたが，催促していたものである。」

15.だが主を畏れ（敬虔であっ）た者は，楽園と泉に（住・），

16.主がかれらに授けられる物を授かる。本当にかれらは，以前善行に動しんでいた。

17.かれらは，夜間でも少しだけ眠り，

18.また黎明には，御赦しを祈っていた。

19.またかれらの財産には，乞う者や，乞うこともできない困窮者たちの権利があると認識していた。

20.地上には信心深い者たちへの種々の印があり，

21.またあなたがた自身の中にもある。それでもあなたがたは見ようとしないのか。

22.天には，あなたがたへの糧と，あなたがたに約束されたものがある。

23.それで天と地の主にかけて（誓う）。本当にそれは真実である。丁度あなたがたが話すことが（事実で）あるように。

24.あなたがたは，イブラーヒームの尊い賓客たちの物語を聞いたのか。

25.かれらはかれ（イブラーヒーム）の家に入って，「平安あれ。」と言った時，かれも「平安あれ。見知らぬ方々よ。」と答えた。

26.それでかれはそっと家族のところに引き返し，肥えた仔牛（の焼肉）を持って出て，

27.それをかれらの前に置いた。（だが手を付けないので）かれは言った。「あなたがたは，召し上りませんか。」

28.かれは，かれら（賓客）が薄気味悪くなり，心配になった。かれらは「恐れるには及びません。」と言い，やがて，かれに賢い息子が授かるであろうという吉報を伝えた。

29.するとかれの妻は声をあげて進・出て，額を打って，「わたしは老婆で，石女ですのに。」と言った。

30.かれらは言った。「あなたの主がこう仰せられたのです。本当にかれは英明にして全知であられます。」

31.かれは言った。「それで，あなたがたの御用件は何ですか，使徒の方がたよ。」

32.かれらは，「わたしたちは罪深い民に遣わされたのです。

33.泥の磔を（雨のように）かれらの上に降らすために。

34.放埒を尽す者にたいして，主の御許で印された（泥の磔を降らそう）。」と言った。

35.それから，われはそこにいた信者たちを立ちのかせようとした。

36.しかし，その（町の）中で見出したムスリムの家は，只の一軒だけであった。

37.われは痛ましい懲罰を，恐れる者のために一つの印としてそこに残した。

38.またムーサーにも（印があった）。われが明らかな権威を授けて，かれをフィルアウンに遣わした時を思い起せ。

39.かれ（フィルアウン）はその権勢を傘に，背を向け，「こいつは魔術師か，それとも気違いだ。」と言った。

40.それであれは，かれとその軍勢を捕えて海に投げ込んだ。本当にかれは，けしからぬ者であった。

41.またアードにも（印があった）。われが惨害を(西?)す風をかれらに送った時を思い起せ。

42.それはかれらを襲って，凡てを壊滅し廃墟のようにして，何も残さなかった。

43.またサムードにも（印があった）。「束の間（のあなたがたの生）を楽しめ。」と言われた時を思い起しなさい。

44.その時かれらは，主の命令に横柄に背いたので，あれよと見ているまに雷に襲われた。

45.最早かれらは起き上ることも出来ず，また守ることも出来なかった。

46.以前にも，ヌーフの民を（われは滅ぼした）。本当にかれらは反逆の民であった。

47.われは偉力をもって天を打ち建て，果しない広がりにした。

48.またわれは大地を打ち広げた。何と見事に広げたことよ。

49.またわれは，凡てのものを両性に創った。あなたがたは訓戒を受け入れるであろう（という配慮から）。

50.「それであなたがたは，アッラーの祢護の下に赴け。本当にわたしはかれからあなたがたに遣わされた公明な警告者である。

51.それでアッラーと一緒に外の神を立ててはならない。本当にわたしは，かれからあなたがたに遣わされた公明な警告者である」。

52.同様にかれら以前の者も，使徒がかれらにやって来る度に，「魔術師か，または気違いだ。」と言った。

53.かれらはそれを遺訓として継承して来たのか。いや，かれらは法外の民である。

54.それで，かれらを避けて去れ。あなたがたは（かれらの行いに対して）咎めはないのである。

55.だが訓戒しなさい。訓戒は信者たちを益する。

56.ジンと人間を創ったのはわれに仕えさせるため。

57.われはかれらにどんな糧も求めず，また扶養されることも求めない。

58.本当にアッラーこそは，糧を授けられる御方，堅固なる偉力の主であられる。

59.悪行の徒の授かり分（罰）は，かれらの仲間の授かり分（罰）と同じであろう。だからそう（われを）急き立てなくてもいい。

60.信仰しない者に災いあれ。約束の日がかれらに必ずやって来る。

SURA 52.山章 〔アッ・トール〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

1.かの（啓示の）山にかけて（誓う）。

2.整然と書き記された啓典にかけて，

3.巻かれていない羊皮紙に，

4.不断に詣でられる聖殿にかけて，

5.高く掲げられた天蓋にかけて，

6.漲り(温?)れる大洋にかけて（誓う）。

7.本当に主の懲罰は必ず下る。

8.それは避け得ない。

9.その日，天は大いにゆらゆらと揺れ，

10.また山々は揺ぎ動くであろう。

11.その日，（真理を）虚偽であるとした者に災いあれ。

12.虚しい事に戯れていた者たちに。

13.かれらが（もの凄い力で）地獄の火の中に突き落されるその日，

14.（こう言われよう。）「これこそは，あなたがたが虚偽であるとしていた地獄の業火である。